



2019年11月14日

記者各位

出光興産株式会社

## 2020年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等をふまえ、2019年5月15日に公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

## 記

## 1. 2020年3月期の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

|                         | 売上高<br>(百万円) | 営業利益<br>(百万円) | 経常利益<br>(百万円) | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益<br>(百万円) | 1株当たり<br>当期純利益<br>(円) |
|-------------------------|--------------|---------------|---------------|----------------------------------|-----------------------|
| 前回発表予想(A)               | 6,790,000    | 220,000       | 228,500       | 160,000                          | 530.23                |
| 今回修正予想(B)               | 6,100,000    | 165,000       | 150,000       | 100,000                          | 332.53                |
| 増減額(B-A)                | ▲690,000     | ▲55,000       | ▲78,500       | ▲60,000                          |                       |
| 増減率(%)                  | ▲10.2%       | ▲25.0%        | ▲34.4%        | ▲37.5%                           |                       |
| (ご参考)前期実績<br>(2019年3月期) | 4,425,144    | 179,319       | 169,121       | 81,450                           | 401.63                |

注)当社は2020年3月24日を期日とする上限480万株の自己株式取得を予定しています。2020年3月期連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該取得予定を期中平均株式数に反映し算出しています。

## 2. 業績予想修正の理由

売上高は、原油価格の下落を見込むことから前回発表予想より減収となる見通しです。

営業利益は、在庫評価損280億円や原油および石炭価格の見直し等による影響を反映し、前回発表予想から550億円の減益となる1,650億円に修正しました。

経常利益は、上記に加え、持分法投資損失の拡大から前回発表予想比785億円減益の1,500億円を見込んでいます。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想から600億円の下方修正により1,000億円となる見通しです。

(前提条件)

(単位:ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

|             | 前回発表予想 | 今回修正予想 | 増減   |
|-------------|--------|--------|------|
| 原油価格(ドバイ原油) | 70.0   | 63.1   | ▲6.9 |
| ナフサ価格       | 650    | 515    | ▲135 |
| 為替レート       | 110.0  | 107.5  | ▲2.5 |

注)今回10月以降前提:原油価格60ドル/バレル、ナフサ価格485ドル/トン、為替レート105円/ドル

## 3. 配当予想

当期の第2四半期末配当金及び期末配当金はそれぞれ1株当たり80円(1株当たり年間配当金160円)を予定しており、前回予想からの変更はございません。

## 4. 自己株式取得と消却予定

当社は、2020年3月24日を期日とする上限480万株(取得価額の上限120億円)の自己株式取得を予定しています。なお、今回取得する自己株式は、2020年4月30日に全株式を消却する予定です。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上